



STに注目~!

浅香山病院には5名のSTが在籍しています。担当は急性期、回復期、精神科、地域包括ケア、緩和ケア、ひまわり訪問看護、みあ・かーさ、かーさ・あもーれ、外来です。

STの仕事内容は嚥下評価だけではない!

STが嚥下以外でどのようなリハビリを行っているかを今回は精神科と回復期病棟を例にお伝えします。

リハビリ実施内容 (2023年度)



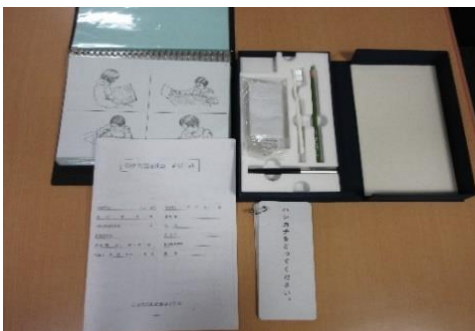
精神科病棟でのリハビリについて

ご本人さまのペースを崩さないように心身の状態に合った対応やリハビリを行うようにしています。

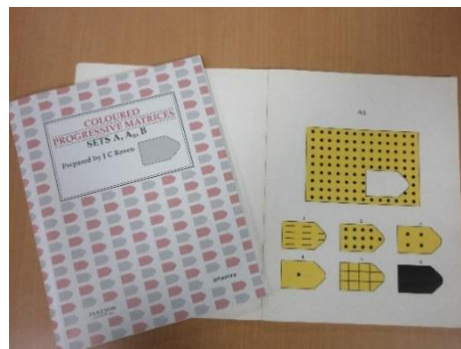
わずか2% 言語・コミュニケーションのリハビリを実施したケース

- ・脳血管疾患後の言語障害の特徴やレベルの判定検査
- ・言語障害が出ているがそれが脳疾患によるものか認知機能の低下によるものかの判別検査

SLTA:
言語障害の特徴・レベルの判定



レーヴン色彩マトリックス検査:
非言語認知機能検査



左のような検査で特性を知り結果に合わせた言語のリハビリを行っていました。



次のページに回復期で行う具体的なリハビリ内容をご紹介します

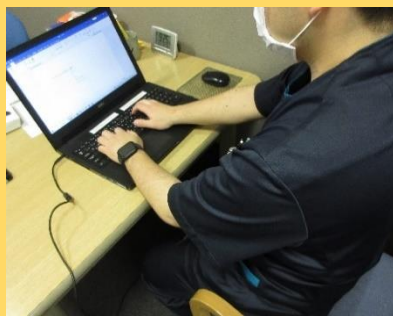
回復期のリハビリについて

脳血管疾患後のリハビリを対象とすることが多いです。日常生活や復職時を意識したリハビリを行っています。

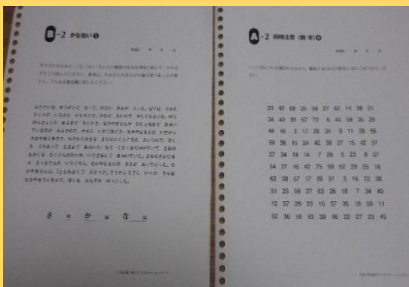
高次脳機能訓練(注意・記憶・認知)



認知機能の維持・低下予防



復職を意識したパソコン練習



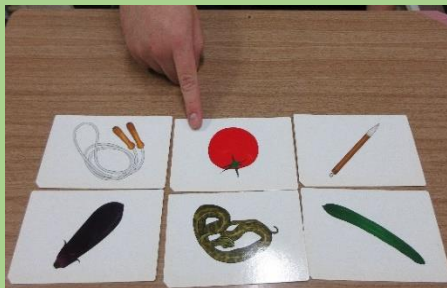
高次脳機能に対する課題



言語・コミュニケーションリハビリ



iPad を使用し動画や音声を活用したリハビリ



理解・表出能力の向上

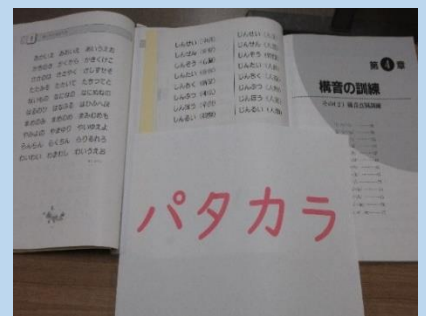


発語代償手段の提案

発声発語器官のリハビリ



口腔機能・腹式呼吸の強化



発声発語器官の能力向上



舌筋力の強化

高次脳機能障害の患者様に対して実際に復職に向けてリハビリを行ったケース

仕事でパソコンを使う患者様でした。仕事内容を聴取したうえでタイピングやエクセル、ワードの動作確認を行いました。また高次脳機能に対するリハビリとして作業効率や処理速度の向上、注意機能の向上を目的に机上課題も同時に行いました。最終は**難しいことや出来ることを本人に理解してもらい**復職する会社で仕事内容を相談してもらうこととなりましたが、リハビリで行ったことが自信となり仕事復帰に繋げることが出来ました。

STリハビリの多様性を知って頂けたでしょうか？

ST=嚥下のイメージが強いのか嚥下リハビリで処方をいただくことが多いですが**退院後の生活を想定して発声発語器官や言語・コミュニケーション、高次脳機能(注意・記憶・認知)のリハビリを行うことが可能です。**

もし、身近に気になる患者様がいましたら対応できるケースもありますので一度**言語聴覚室**にご相談ください。

ST

